

公共交通のこと
考えてみませんか？

きづがわ

木津川市内公共交通を再編中



公共交通だより

発行日
平成24年
5月1日

vol.
45

木津川市では、市民の皆様にとって使いやすく満足度の高い地域公共交通を目指し、取り組んでいます。今月号では、今後持続可能な運行体系を目指して、再編の際の基準を明確化するために作成したガイドラインと、加茂地域・山城地域の利用状況についてお知らせします。

コミュニティバス等の持続可能なためのガイドラインについて



3月27日に、第17回木津川市地域公共交通総合連携協議会を開催し、持続可能な運行体系を構築するため、サービスレベルの見直し基準となるガイドラインを策定しました。

これまででは、利用実態に応じたサービスを提供するための基準を示したものがありませんでしたが、このガイドラインでは、コミュニティバス等の運行の継続や休廃止を判断する継続運行条件を示しています。ガイドラインの概要は次のとおりです。

■コミュニティバス等の運行継続条件

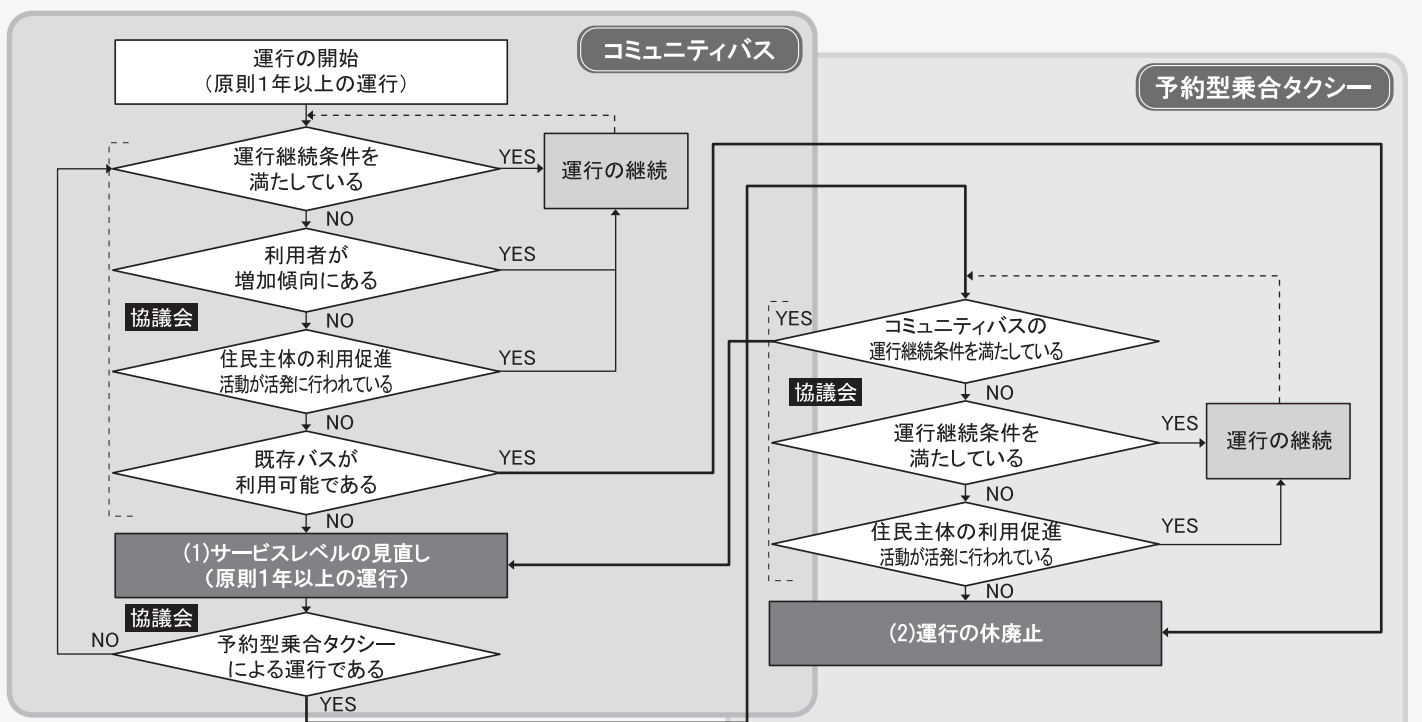
コミュニティバス及び予約型乗合タクシーについて、これまでの定時定路線の継続条件を基本に、次の表のとおり運行継続条件を策定しました。

交通モード	運行継続条件	
	1日あたりの利用者数	予約率 (運行本数/予約可能本数)
コミュニティバス	10人(注)	—
予約型乗合タクシー	コミバスの代替機能	25%
	コミバスの補完機能	—

(注)1日1路線8便で10人の利用とする(定時定路線の継続条件)

■コミュニティバス等の見直し・休廃止の流れ

コミュニティバス等の見直し・休廃止の流れは次のとおりです。なお、通学線は対象外としています。運行継続条件を基本に、利用者傾向・地域での利用促進活動等の状況を見ながら、サービスレベルの見直しを行います。



今後も、積極的なご利用をお願いします。

裏面へつづきます

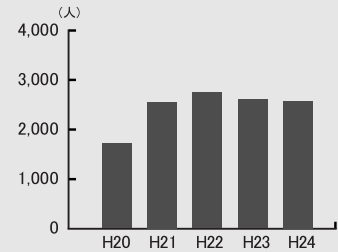
利用状況（平成24年1月～3月）について



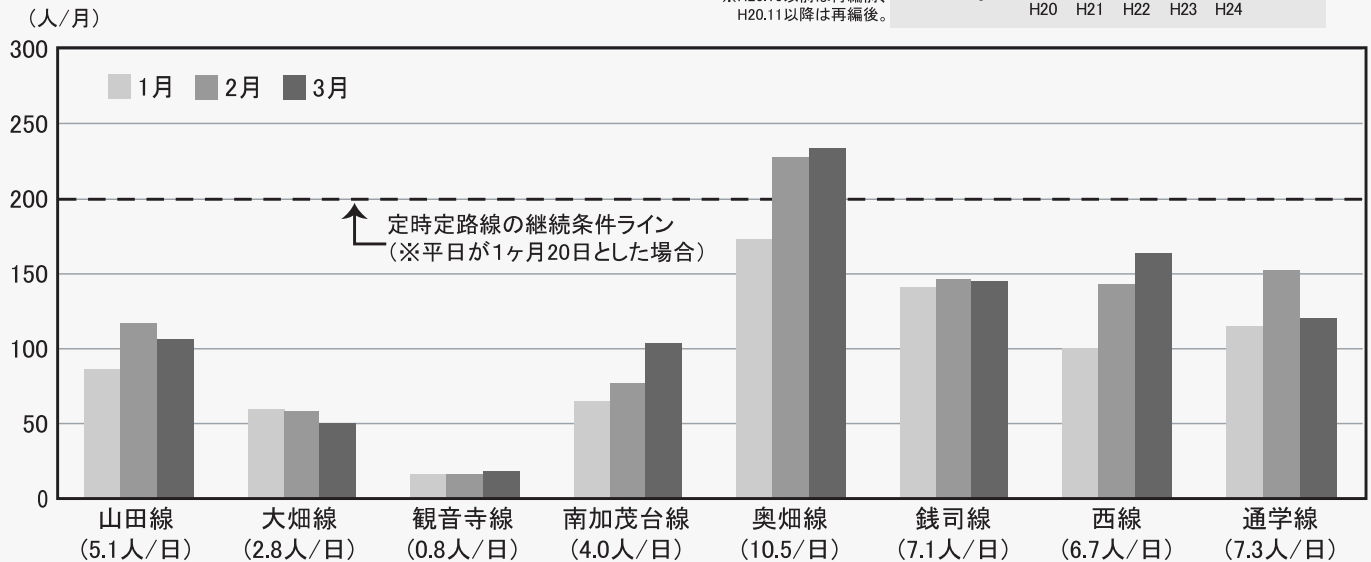
■加茂地域（当尾線除く）

路線の合計利用者数は、昨年と比較し、減少しています。
「定時定路線の継続条件 1 路線あたり約10人/日」は、ほとんどの路線で下回ったままです。

※前年度との比較(1月～3月)

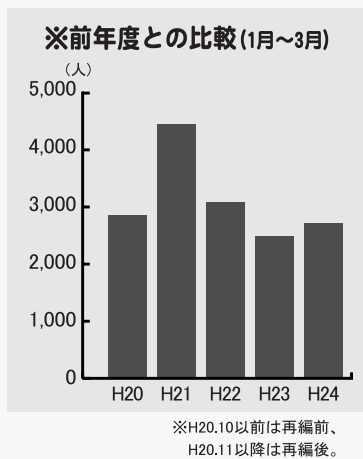
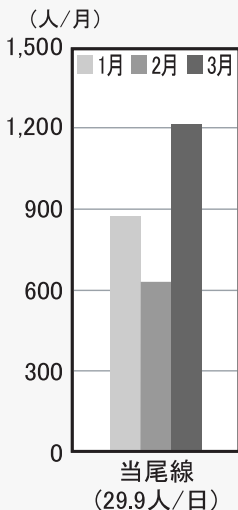


※H20.10以前は再編前、H20.11以降は再編後。



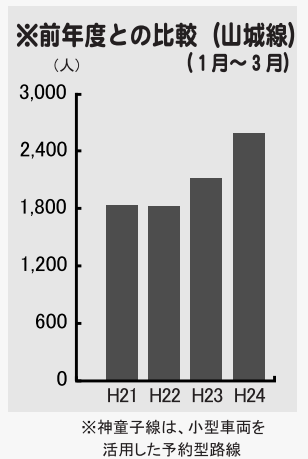
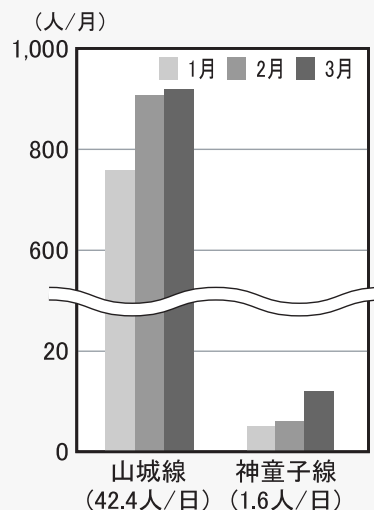
■当尾線

利用者は、昨年と比較し、増加しています。



■山城地域

山城線は、昨年と比較し、利用者が増加しています。



3月20日からバスのダイヤ等が変わっています



3月20日に、バスのダイヤを一部変更しています。ご利用の際には、ご注意ください。

なお、新しい時刻表は、4月号の広報に折り込んでいます。新たに必要の方は、市役所や支所など、市の各施設でも配布していますので、窓口にておたずね下さい。



木津川市コミュニティバス時刻表